

『訪問看護がわかる「いま・これから」のKey Word
—過去・現在を読み解き、未来をひらく』
第1版第1刷
お詫びと訂正

弊社書籍『訪問看護がわかる「いま・これから」のKey Word—過去・現在を読み解き、未来をひらく』第1版第1刷（2020年4月10日発行）に誤りがございました。

謹んでお詫びし、訂正いたします。

■p. 121 本文の下から3行目の段落、以降の本文が途切れておりました。

【誤】



報酬の構造と、報酬（収入）の大幅増額

それまでの1回の訪問で〇〇〇円という報酬の仕組みから、3つの療養費等の合計の報酬という構造になりました（左ページ参照）。医療機関の1つの報酬ではなく、独立した事業所と…以下が切れておりました。

【正】



報酬の構造と、報酬（収入）の大幅増額

それまでの1回の訪問で〇〇〇円という報酬の仕組みから、3つの療養費等の合計の報酬という構造になりました（左ページ参照）。医療機関の1つの報酬ではなく、独立した事業所として経営し、事業継続できるように工夫された報酬構造です。

その後、1回の訪問看護の報酬が大幅に増額されますが、設立当初は、採算がとれる点数ではありませんでした。



はじめは「高齢者」、2年後には「全年齢対象に」

1994（平成6）年の健康保険法改正より、全年齢が対象となりました。「老人訪問看護ステーション」は「訪問看護ステーション」となり65歳以下のがん末期の患者や障がい者にも訪問が認められるようになりました。

■p. 122 p. 121の図1と同じものが掲載されていますが、p. 122では不要です。